

「美郷町」20年の歩み 平成20年度～平成21年度

美郷町水環境保全条例を施行



平成20年4月1日、美郷町水環境保全条例が施行されました。この条例は、町と町民、事業者等が水環境の保全について、共通の認識を持ち、それぞれの立場で具体的な活動に取り組み、将来にわたる水に対するイメージの醸成を図るため制定されました。

予約制乗合タクシーの運行を開始

地域内交流と公共交通空白地域の解消に向けて、平成20年4月1日から予約制乗合タクシーの試験運行を開始しました。予約制乗合タクシーは、運行



区域と運行ダイヤが定められており、予約があった時にだけ運行します。平成21年度には本運行を開始し、通院や買い物等のための身近な交通手段として、多くの方に利用されています。



「美郷町公共施設再編計画」「美郷町学校再編計画」を策定

平成21年6月、「美郷町公共施設再編計画」「美郷町学校再編計画」を策定しました。公共施設については、平成19年度に再編に向けた検討に着手し、施設分類、ことの再編における方向性を決定。パブリックコメントの募集や住民意見交換会等を経て、再編計画を策定しました。学校施設については、平成19年度から「美郷町立

学校の将来について考える」事業に着手し、諮問機関を設けて課題事項の検討を重ねてきました。パブリックコメントの募集や住民意見交換会等を経て、再編計画を策定しました。

美郷町合併5周年記念式典を開催

平成21年11月1日、美郷町合併5周年記念式典が仙南公民館（現美郷町公民館）で開催され、来賓や関係者、町民など約400人が出席しました。式典では、美郷町功労者・貢献者の表彰や絵本作家・イラストレーターの永田萌さんの記念講演が行われたほか、町内5歳園児がお遊戯を披露し、美郷町の5歳の誕生日をお祝いしました。



「美郷町」20年の歩み 平成22年度～平成23年度

町の魅力を発信するため美郷大使を委嘱

町では、学識経験者や文化人などで、知名度の高い方々に町の魅力発信やまちづくりへの提言をいただくため、「美郷大使」を委嘱しました。

平成22年には、美郷町出身の町田睿さん（フィデアホールディングス株式会社取締役会議長）と佐々木毅さん（元東京大学総長）、本町にゆかりのある永田萌さん（絵本作家・イラストレーター）に美郷大使を委嘱しました。また、平成25年には、高階秀爾さん（美術評論家・大原美術館館長）に美郷大使を委嘱しました。

あきたふるさと手作りCM大賞2010で美郷町が最優秀賞を受賞

秋田朝日放送主催の「あきたふるさと手作りCM大賞2010」で、町と美郷町観光協会の若手有志が合同で制作したCMが最優秀賞を受賞しました。

町の財産である清水をテーマに制作されたCMは、町内27カ所の清水の名前をメロディーにのせて紹介しています。CMは秋田朝日放送を含め、東北6県で年間365回放送され、多くの人に町の魅力を届けました。



東日本大震災被災地への支援の輪広がる

平成23年3月11日、三陸沖を震源とする「平成23年（2011）東北地方太平洋沖地震（東日本大震災）」が発生し、本町では震度4の強い揺れを観測しました。同日、美郷町災害警戒部を設置し、被害状況等の把握、要援護者の安否確認、避難所の設置、被災者受入施設の開設などが行われました。

被災地への救援物資の受付を行ったところ、多くの町民の方々からご協力をいただき、3月20日には、約150箱分の物資を秋田県仙北地域振興局に搬入しました。

3月23日には、震災で大きな被害を受けた岩手県大船渡市に、米や水、味噌などの支援物資を輸送しました。



六郷小学校開校

美郷町学校再編計画に基づき、六郷東根小学校と六郷小学校が統合し、六郷小学校の校舎を活用した新生「六郷小学校」が平成22年4月1日に開校しました。開校時の児童数は331名でした。



かけがえのない水環境を未来へ名水サミットin美郷

平成23年7月1日、全国の名水百選の所在する市町村からなる全国水環境保全市町村連絡協議会の全国大会「名水サミットin美郷」が美郷町公民館で開催され、関係者や町民など約400人が参加しました。



平成23年7月2日には、県外からの全国大会への参加者を対象に、六郷湧水群や「後三年合戦」古戦場などを巡るオプションツアーも開催されました。